

令和 8 年度 石川県立輪島漆芸技術研修所運営委員会 議事録

日時：令和 8 年 5 月 2 6 日（火）

午後 1 時 3 0 分～

場所：輪島漆芸技術研修所 講堂

最初に事務局から委員 1 4 名のうち 8 名が出席し、4 名から委任状の提出があった旨の報告があった。

※出席予定の 2 名が、当日朝、急遽欠席となった。

運営委員会規則第 5 条第 2 項の規程により当委員会の開催と議決は有効であることが報告され、委員会の開会を宣言した。

次 第

1. 所長挨拶

- ・出席に対する御礼。
- ・今年は研修所が設立されてから 6 0 年目となり、卒業生も 9 5 1 人を数え、それぞれ漆芸の道で頑張られている。
- ・皆さんから忌憚のないご意見をいただき、今年度の運営に反映していきたいと思いますのでご審議のほどよろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

会長は山岸委員に引き続き依頼し、山岸会長が議事進行することを宣言した。

3. 運営委員及び職員紹介

4. 議事

（1）研修所現況報告

事務局から令和 7 年度の事業実績として、卒業式や作品展、見学研修についての報告、令和 8 年度事業計画として、入学式、作品展、見学研修、デザイン研究会、特別講義、オープンキャンパス、卒業式、入学試験についての報告があった。

令和 6 年度は、地震や豪雨災害によって「1 2 月スタート、翌年 1 1 月終わり」という変則的な年度区分での研修を強いられたが、令和 8 年度からは従来どおり 4 月に入学式が行われ、現在、研修が進行中であることが報告された。

山岸会長が審議を諮ったところ出席委員の賛成多数で可決された。

(2) 令和8年度の研修所運営

研修所運営に関して、講師の異動や指導陣営、運営目標、教育方針、教育課程、庁舎警備、災害対策、職員の事務分担、年間行事予定、年間指導計画についての報告があり、山岸会長が審議を諮ったところ出席委員全員の賛成で可決された。

(3) 優品模造制作

事務局から令和7年度の優品模造制作完成、(大谷早人制作 籃胎蒔醬水指『黎明 白』)と優品調査、令和8年度の優品模造制作(西勝廣制作 沈金箱『梅花空木』榛地～髹漆工程)についての報告があり、山岸会長が審議を諮ったところ出席委員全員の賛成で可決された。

(4) 事務局からの報告事項

○研修生のほとんどが県外出身者という状況が今後も続くものと思慮され、現在の仮設寄宿舍(トレーラーハウス)や輪島市管理の定住促進住宅だけでは受け入れ切れないことから、研修所敷地内、現在の研修生用駐車場に、地上4階、35室の新寄宿舍を建設する予定であり、この秋から工事に着手する。令和10年4月の供用開始を目指している。

新寄宿舍建設に伴う新たな研修生用駐車場は、研修所隣接地を購入し、造成、整備する方向である。

○令和7年度より「輪島漆芸技術研修所奨学金」が予算化され、今年が2年目となる。期間は1年間で、給付額は月額5万円の年間60万円である。今月15日に募集を締め切ったところ、定員8名のところ13名の応募があった。この29日に合否判定委員会を行う予定となっている。

(5) 運営委員の意見・要望

中野委員

・「金」の値上がりがいつまで続くのか。これまでどおり金が使えようになっしてほしいと思います。

島崎委員

・今年は思ったよりたくさん新入生が入られてよかった。寄宿舍ができるということです、生活の基盤ができるということは、たいへん助かりますし、安心して制作に励めるのではないかと喜んでおります。

市島委員

・オープンキャンパスのことでお聞きしますが、30名の参加者のうち何名が入学されたのでしょうか？

→ 30名とありますが、(入学) 対象者が23名、その保護者等が7名でありまして、この23名のうち、8名が入学いたしました。

細川委員

・市内の施設も減少し、仮設住宅に入りたくてもなかなか入れない状況の中、寄宿舍ができることはたいへん明るいニュースだと思います。

5. 所長挨拶

・いただきました貴重なご意見を、これからの研修所運営に役立ててまいります。